

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	グローバルビジネスプログラム
-----	----------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	35000 円	
図書費・学用品費	円	
携帯・インターネット費	15000 円	
現地通学費	3500 円	(研修先まで 25 分)
教養娯楽費	5000 円	
被服費	5000 円	
雑費	5000 円	
その他	25000 円	例:お土産、タクシー代
合計	93500 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法:
 その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください

カード支払いが主流で、中には現金対応していないお店もあったためカード中心での生活だった。ただしローカルな店では現金対応のみのところもあったため、現金もある程度用意しておく必要がある。

- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。

トリファの eSIM の無制限プランを用意した。大学と寮以外に Wi-Fi は基本なかったため、通信制限を気にせず携帯を使用できることは大きな安心感につながった。

- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

・パーカーなどの薄手の羽織(冷房が効きすぎていることが多々あるため。室内では基本羽織が必要でした。)・ファブリーズなどの消臭スプレー(インターン先によっては制服が配布されないため、自前のスーツを 2 週間洗濯できない可能性がある。)

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

なし あり (問題の内容や相談した人等:)
 特記事項:

- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省のサイトをチェックしたり、配信される危険情報に目を通していた。

- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

Wi-Fi は基本大学と寮以外にはない。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 4 人)
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

セキュリティ対策は万全で、安心して過ごすことができました。ただし古い設備が散見されるため、不具合があった場合はフロントに問い合わせで代替を用意してもらうことをお勧めします。しっかり対応してくれます。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

慣れない環境(異文化)に身を置くだけでなく、インターンを通して実践的な英語を学ぶため。

2)参加するにあたっての目標はありますか。

多民族・多文化社会であるマレーシアに身を置き、価値観や文化的背景の異なる人々と関わる中で、柔軟に対応できる力を身につけることを目標としていた。特に、英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるだけでなく、相手の文化や考え方を尊重しながら自分の意見を伝えられる姿勢を養うことで、将来の進路や国際的な場面で活かせる経験にしたいと考えた。

3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

飲食業界で働きたいと考えていたが、怪我との兼ね合いで最終的にホテルのフロント業務で希望を提出した。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)どのような業界で実習を行いましたか。

観光業

2) 主要な実習内容を記載してください。

2 週間のうち前半 1 週間はホテルのフロントでインターンを行った。チェックインとチェックアウト業務が中心だった。後半はハウスキーピング業務でお客様と接するというよりは従業員と協力しながら部屋の管理を行った。

3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。

フロント業務については想像以上にアナログで驚いた。日本のホテルではサインをタブレット上で行うところが多いが、当ホテルではサイン、顧客情報まで紙で管理していた。またお客様との接し方について、日本ではガチガチの敬語が基本だが、単語で返答していたり、イライラしている態度を隠さずに接客していた。ハウスキーピング業務はお客様の目に触れないため空き時間にスイートルームで上司と SNS を交換する時間があるなど緩い雰囲気だった。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

指導、実践、コミュニケーションのすべてが当たり前だが英語のため、生き残るために否が応でも英語を使わなければならない点が良い点だと感じる。一方で日本人の学生と一緒にインターンするため、最終手段として日本語で「今こう言ってたよね」と確認することができてしまう。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

ただただ英語を学ぶだけでなく、実際にお客様と接する、業務の責任を取る、同僚と会話する、上司に指導を受けるなど実際に英語を使う社会に出ることができるため、社会人としてこれは必要なんだ、という心構えを学ぶことができる。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

英検準 1 級

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

TED talk を視聴する

3) 実習／ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

日本人同士でも英語を使う

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

働き方が全く異なると感じました。一言で言うと、自由です。

ホテルのフロントで働いていたとき、旧正月の時期だったためライオンダンス(日本で言う獅子舞のようなもの)をそのホテルで見る機会がありました。普段の落ち着いた雰囲気とは一変してお祭り騒ぎとなり、誰もが仕事の持ち場を離れてお客様も一緒になって踊ったり写真を撮ったり楽しんでいました。就業時間中の出来事とは思えないほどのカオスな状況だったことや、仕事中だよね?と疑うほど誰もが持ち場を離れていたことが衝撃で、日本ではありえないなと感じました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私の英語力はそらの高校生と同じくらいで、出川イングリッシュもよいところなレベルです。インターンと聞くと「私には無理だ」と思ってしまうかもしれませんが、やってみないとわかりません。実際出川イングリッシュな私でも 1 ヶ月生き残ることができました。この経験は私にとって「案外何事もどうにかなる」と学ぶ機会となり、挑戦への恐怖心が好奇心に変化しました。迷っているなら飛び込んでみてほしいです。一皮むけて今後の学生生活や、よもや今後の人生を楽しむ契機になるかもしれません。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	グローバルビジネスプログラム(マレーシアインターンシップ)
-----	-------------------------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	55000 円	外食、自炊含む
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	17500 円	トリファ e-SIM
現地通学費	4000 円	(学校まで 15 分、研修先まで 20 分)
教養娯楽費	23000 円	お土産、観光
被服費	15000 円	H&M でよそ行き用の服を購入
雑費	6500 円	日用品、洗濯代
その他	0 円	
合計	121000 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法:
 その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください

基本的にはカードタッチ決済で問題ありませんが、現金も使う場面がありました。3万円程度はもって行って、現地で換金すると思います。

- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。

e-SIM(トリファ)

- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

準備して助かったもの: 洗濯ネット、ハンガー、ハンドソープ、スリッパ、ハサミ、名前ペン、うがい薬、風邪薬(カロナール)

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

なし あり (問題の内容や相談した人等:)
 特記事項:

- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

特に犯罪には巻き込まれませんでした。

- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

寮に Wi-Fi はついていますが、夜になると回線が悪くなるので無制限の SIM を利用することをお勧めします。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 4人)
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

想像していたよりもきれいでした。ただ、お風呂はシャワーのみで、トイレとの仕切りもしっかりしていないため慣れないうちはびしょびしょになってしまうのが気になるかもしれません。また、掃除が週に一度しか入らないため、バスタオルやトイレトイレットペーパーも週に一つのみです。現地で調達するか、日本から持っていく必要があります。IH コンロがつかなくなったり、ウォーターサーバーからお湯が出なくなったりといくつかのトラブルはありましたが、フロントの人に伝えればすぐに対応してくれました。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

語学研修メインではない短期留学を希望していたため、このプログラムに申し込みました。2週間語学を学んでからインターンシップに参加でき、現地の方々と働くという貴重な経験をするのが魅力だと感じたためです。

2)参加するにあたっての目標はありますか。

自分から積極的にコミュニケーションをとり、現地の文化を知ること。

3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

ホテルのマーケティングもしくは、レセプションスタッフ

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)どのような業界で実習を行いましたか。

ホテル

2) 主要な実習内容を記載してください。

フロント対応(フロントでのチェックインチェックアウトの業務、カスタマーの要望への対応)を1週間行い、次の1週間でハウスキーピング(ベッドメイキング、アメニティのチェックなど)を行いました。

3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。

業界や仕事内容に関して特に大きなイメージの差はありませんでした。日本よりもフレンドリーな接客でフロント業務をこなす方が多く、楽しい職場で日本よりも居心地よく感じました。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

良かった点:特にフロント業務ではカスタマーとも上司とも当たり前英語オンリーでのコミュニケーションなので、自然に英語を話す機会が増えました。また、パソコンでの操作も多く教えてもらったため、ホテルのチェックインの仕組みやカードキーの仕組みなど、ホテル自体の業務を知ることにもつながりました。

大変だった点:勤務日が中国の旧正月と重なったため、2日間特に忙しい日がありました。ちょうどそこがチェックインを一人で行えるようになったかな、くらの時期で、業務を任せてもらったのですが、ダブルブッキング部屋を作ってしまうという大ミスをしてしまい、何人かの上司から注意を受け、その時は落ち込みました。しかし今思い返すとここで学んだことは多く、貴重な経験であったと感じています。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

一番の成果は多くの職場の方々に関わる中で彼らの文化を学ぶことができた点です。また、わからない時はきちんとわからないと答え、わかるまで質問し続けるという忍耐力も身に付いたと思います。

英語力/コミュニケーションについて

1)申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC715点、TOFLE60点

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

特に行っていませんでした。

3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

初めの2週間は正直レベル的にはそこまで高くなく、日本語で話をしてしまう場面も多くありました。ただ、先生との会話は英語で行われるので、積極的に話をするように心がけていました。インターンが始まってからは職場の人やカスタマーと英語で話す機会が増え、わからないことがあればその都度すぐに質問するように心がけていました。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

食事の際に文化の違いを感じる事が多くありました。例えば、飲食店が基本的にムスリムの方たち向けなので、豚肉はほぼなく、鶏肉を使用したメニューが多いことや、手で食べる文化があることです。また基本的に辛くて味の濃い料理が多いです。私はマレーシアの味付けが体に合いましたが、クラスメイトの中には体に合わず、おなかを下している人もいました。研修期間がラマダンと被ったため、職場の人たちの中でも日中は食事をとらない、という人を多く見かけました。町を見てもヒジャブをかぶっている人を日中飲食店で見かけなかったり、一方で夜になると多く見かけたりと、印象深い経験でした。ただ、その中でも信仰の深さは人によって違うということも職場で感じる事ができました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

マレーシアでの一か月間というのは非常に学びが多く、率直に参加してよかったと感じています。マレーシアが多民族国家であることは以前から知っていましたが、想像以上に多くの民族の方々が生活を共にして、国民の寛容さというものを感しました。一つの国に滞在しながら様々な種類の文化を経験できたことは、本当に貴重な体験でした。後半のインターンシップでは英語でのコミュニケーションはもちろんホテルの基本的な業務も学ぶことができました。問題解決力や質問力、臨機応変な対応力など総合的に見て成長できたと感じています。生活全般としては、異国の地でほぼ初対面のメンバー4人で共同生活を営むわけですから、お互い気になる点などが出ました。一つアドバイスとするならば、気になった時点でうまく相手に伝えるべきということです。一か月耐えられることならいいですが、基本耐えることは不可能なので、自分のストレスがたまる前に伝えてお互いに改善していくことをお勧めします。今回の研修を経て学んだことを今後人生で活かせるようにこれからも精進していきたいと思いました。